

始業式 式辞

新しい一年の最初の日が始まります。

今日は、東井義雄さんの「心のスイッチ」という詩を読みます。

心のスイッチ

東井義雄

人間の目はふしぎな目、

見ようという心がなかったら、／見ていても見えない。

人間の耳はふしぎな耳、

聞こうという心がなかったら、／聞いていても聞こえない。

ほんとうにそうだ、と、／腹の底まで聞く人もある。

おなじように学校に来ていても、／ちっともえらくならない人がある。

毎日、ぐんぐんえらくなっていく人もある。

今までみんなから、／つまらない子だと思われていた子でも、

心にスイッチがはいると、急にすばらしい子になる。

心のスイッチが、人間をつまらなくもし、／すばらしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、／家の中を明るくもし、暗くもするように。

今日は、みなさんの心のスイッチが入る日です。心のスイッチが入ったら、次は、自分の足で歩きだすことが肝心です。一步ずつ自分のペースで着実に歩み続けましょう。

私はみなさんが大人になった時、子供にもどってもう一度やり直したい、そんな後悔をしないように今を生きてほしいと願います。

子供時代を精一杯生きてこそ、活力に満ちた青年になり、活力のある青年が、夢を追い続ける大人になっていくのだと思います。新たなめあてをもち、実りの多い一年にしましょう。

多可町立杉原谷小学校

荻 野 学